

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	藤野芸術の家
指定管理者	一般社団法人かながわ青少年協会
指定期間	H23. 4. 1 ～ H28. 3. 31
施設所管課	青少年課 ()

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

提案どおりに事業を実施しており、閑散期の利用者増加を図るため、宿泊者食事割引やキャンプステーション臨時開館、季節限定企画、県のたよりをはじめとした積極的な広報活動等の取り組みを行った結果、今期の利用者は前年度比で6.0%の増加となった。また、積極的な節減に努めるとともに、利用者増加に伴って利用料金収入は前年度比で3.8%の増加となった。
これらを踏まえ、収支状況についても問題なく、事故や不祥事等も発生していないことからB判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月9日	11月29日	○	—	○	有	閑散期(1～2月実施)対策として実施する宿泊者食事割引の事業内容について確認した。
11月	12月11日	12月19日	○	—	○	有	宿泊棟空調機器新設の必要性・費用負担について協議し、指定管理者が設置することを確認した。
12月	1月11日	1月18日	○	—	○	有	利用者の増要因及び自主事業の内容・実施状況について確認した。
1月	2月12日	2月18日	○	—	○	有	設備点検結果、設備異常等の内容及び対応方法について確認した。
2月	3月11日	3月19日	○	—	○	有	消防設備不具合の内容及び対応方法について確認した。
3月	4月9日	4月17日	○	—	○	有	消防設備復旧の確認及びキャンプステーション臨時開館実施状況について確認した。

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	提案内容の要旨を記載 体験事業（陶芸体験、木工体験、自由工房でのガラス工芸体験等、音楽体験、自然体験）《常設及び季節による期間限定プログラム》	実績又は今後の見込みを記載 常設及び季節による期間限定プログラム体験者数 17,452名

	提案内容	実施状況
2	<p>提案内容の要旨を記載</p> <p>学習事業（地域作家教室、美術基礎講座、音楽基礎講座、音楽芸術講座、アートテクニカルスクール）</p>	<p>実績又は今後の見込みを記載</p> <p>美術基礎講座 12/5,6「スタンド技法によるガラスのフォトフレーム作り」18名</p> <p>アートテクニカルスクール 3/3,9,10「ステージの音響・照明に挑戦！」106名</p> <p>3/10 無料コンサート 「Family Live」105名</p>
3	<p>提案内容の要旨を記載</p> <p>創造事業（優れた芸術の鑑賞など）</p>	<p>実績又は今後の見込みを記載</p> <p>「ピアノと花の優美な世界」 ピアニスト・三船優子と 華道家・假屋崎省吾の共演 11/25 206名</p>
4	<p>提案内容の要旨を記載</p> <p>活動支援事業（地域との連携事業、学校等連携事業など）</p>	<p>実績又は今後の見込みを記載</p> <p>常設 地域芸術家の小品販売購入者数 80名</p> <p>地域・学校等連携事業 10/14 第21回藤野村歌舞伎公演 241名 10/21 かんじる学校あそびじゅつ「ひもであそぼう、かたちをつくろう、輪郭ってなあに」9名 11/21～22 中学生職場体験学習受入れ 3名 12/2 第2回藤野芸術の家「音フェス」270名 1/6～1/21 藤野書道協会作品展示 237名</p> <p>校外学習等団体受入 3,475名</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		119,655	40,700	20,069	180,424	180,424	0
予算額	前年度	119,655	40,700	19,646	180,001	180,001	0
	上半期				0		0
	下半期				0		0
	今年度	120,065	40,700	20,069	180,834	180,834	0
	上半期				0		0
	下半期				0		0
下半期実績額	10月	9,698	3,323	1,359	14,380	14,333	47
	11月	15,911	2,316	1,404	19,631	11,786	7,845
	12月	8,698	1,662	884	11,244	22,667	▲ 11,423
	1月	8,698	2,087	544	11,329	12,859	▲ 1,530
	2月	8,698	1,343	862	10,903	11,892	▲ 989
	3月	9,108	4,077	1,528	14,713	10,660	4,053
	今年度 下半期合計	60,811	14,808	6,581	82,200	84,197	▲ 1,997
	前年度 下半期合計	60,401	12,143	6,677	79,221	94,736	▲ 15,515
	対前年度下半期比			③	3.8%	-11.1%	
	参考	今年度 上半期合計	59,254	23,484	11,003	93,741	70,764
今年度 合計		120,065	38,292	17,584	175,941	154,961	20,980

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等

基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：県有財産の維持管理上必要な工事等で50万円以上（県有財産の維持管理上必要な工事等以外は100万円以上）

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期	3,171	・転石防止柵設置工事(808千円) ・浄化槽ばっ気ブロアNo.1及び配管交換工事(2,363千円)
合計	3,171	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	7,244 人	7,570 人	▲ 4.3 %
11月	6,660 人	7,422 人	▲ 10.3 %
12月	5,889 人	4,145 人	42.1 %
1月	2,639 人	2,714 人	▲ 2.8 %
2月	5,375 人	3,758 人	43.0 %
3月	8,196 人	8,359 人	▲ 2.0 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	100,000 人	65,403 人	64,177 人	▲ 34.6 %	2.0 %
今年度下半期計	人	36,003 人	33,968 人	%	6.0 %
今年度合計	100,000 人	101,406 人	98,145 人	1.5 %	3.4 %

※年間目標数のみ計画しているため、上半期と下半期に振り分けできない

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (0)	18 (0)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (0)	26 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

○施設の維持管理については、利用者の安全を最優先しながら、適正な維持管理及び運営を行っている。また、利用者への影響を最小限に留めながらの冬季における電気・灯油の節減努力を行った。

○利用者・利用料金の増収のため、休館日の臨時開館や春休みのキャンパステーション臨時開館、レストランにおいては1～2月で宿泊パック割引（宿泊者食事代20%割引）などの営業努力を行った。

○さらに魅力的な企画の実施等により、宿泊施設・工房・クリエイションホールの利用者を確保していくことを期待している。